

目標達成計画

作成日: 平成24年11月20日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	13	現在災害時のために3日程度の備蓄があるが、首都圏直下型地震などが起きた場合には、現状の備蓄ではどうか不安がある。また、夜間の避難に関しての不安がある。	備蓄を出来れば5日分にする。夜間帯を想定した自主的な避難訓練の実施。緊急時などに離所してしまった場合に、速やかな搜索活動が出来るようになる。	・屋内と屋外に飲料水を中心とした備蓄を増やす。(すでに5日分を備蓄済み) ・離所や散歩時での迷子時の対応を含めて、緊急時の為の緊急連絡カードの作成や、搜索マニュアルの作成する(すでに作成完了)。 ・夜間帯を想定した避難訓練の実施する。 ・離所した時の、搜索訓練も実施する。	3ヶ月
2	18	利用者アンケートで、利用者様の行きたいところに行っているかが問われている。	日ごろの会話から、利用者様の行きたいところを引き出し、可能なところであれば散歩や遠足や買い物で実現する。	・以前住んでいた場所や、懐かしい場所、思い出の場所などを回想してもらい、具体的に計画する。	3ヶ月
3	15	献立づくりにまだまだ利用者様の希望が生かされていないことが多い。	普段から食べたいものや、食べてみたいものを聞き出して、献立に盛り込んでいく。食事委員会などに利用者様も参加してもらうようにする。	・食事の写真を撮り、今までの献立の見直しをする。 ・献立づくりを一緒に行なう。 ・食事委員会などに利用者様に出席してもらう。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。